

薬局新聞



2022年 秋号

《鎮痛剤》のはなし



分類と特徴

アセトアミノフェン	安全性は高いが過量投与に注意	カロナール、アンヒバ、アセリオ
NSAIDs(サリチル酸系)	少量で血小板凝集抑制作用あり	アスピリン
(アリール酢酸系)	強力だが消化管障害が多い	ボルタレン、インドメタシン
(プロピオン酸系)	効果と安全性のバランスが良い	ロキソプロフェン、イブプロフェン
(オキシカム系、コキシブ系)	胃腸障害が比較的少ない	メロキシカム、セレコキシブ
ピリン系(ピラゾン系)	ピリン疹(アレルギー反応)に注意 ②アスピリンは非ピリン系	スルピリン(メチロン) イソプロビルアンチピリン(SG 顆粒)

★解熱作用を有する薬剤(カロナール、アスピリン、ロキソプロフェン、ボルタレンなど)

副作用

- ・アセトアミノフェンは比較的安全性が高い。市販薬にも含まれていることが多いので服用前には要確認
肝機能障害、消化管障害、(高用量の場合)アスピリン喘息
- ・NSAIDs(非ステロイド性抗炎症薬)
胃腸障害(NSAIDs潰瘍)、腎機能障害、アスピリン喘息、心血管系障害
一部の抗菌薬(ニューキノロン系抗菌薬)と一緒に服用すると痙攣

胃腸障害(NSAIDs潰瘍)

- ・NSAIDsが原因で起こる胃潰瘍や十二指腸潰瘍(半数は自覚症状なし)
- ・NSAIDsを服用し始めてから3か月以内で起こることが多い
- ・原因となる薬をやめれば1~2か月で自然治癒
- ・胃薬と一緒に服用すれば予防できる

アスピリン喘息

- ・アスピリンだけでなく、ほとんどの解熱鎮痛剤で息苦しさ(ぜんそく発作)や鼻症状がおきる過敏体質
- ・腹痛、下痢、嘔吐などの症状が出る場合あり
- ・20歳以降に喘息を発症した人の10%以上が解熱鎮痛薬に過敏な体質
- ・原則、喘息のない人には起こらない 鼻茸がある人やにおいが低下した人は要注意

ワクチンの接種間隔

★新型コロナワクチン・インフルエンザワクチン

同時接種可能

(接種間隔に規定なし。)

医師の判断により間隔をあける可能性あり)

★新型コロナワクチン・他のワクチン

新型コロナワクチン接種の前後2週間あける

★異なる種類のワクチン(令和2年10月1日改正)

注射生ワクチンどうしは27日以上あける

それ以外の組み合わせは一律の日数制限なし

接種が可能な期間であっても、
体調が良いことを確認して下さい!

お気軽に
ご相談下さい

その他の鎮痛薬

オピオイド(麻薬性・非麻薬性)

非麻薬性:トラマドールなど

神経障害性疼痛緩和薬

タリージェ、リカ

抗てんかん薬

テグレトール(三叉神経痛)

抗うつ薬

サインバルタ(糖尿病性神経障害、慢性腰痛症)

トリプタノール(末梢性神経障害性疼痛)



東加古川病院 薬局
加古川市平岡町新在家 1197-3

